

# ソウル駐在員通信

vol.18

クレアソウル事務所 所長補佐 菊池さやか

アンニョンハセヨ! (一財) 自治体国際化協会ソウル事務所〈通称: CLAIR, Seoul (クレアソウル)〉に派遣されている、菊池さやかと申します。今回は、私が携わった業務を2つご紹介したいと思います!

# ■ 茨城県の料理体験&観光 PR 実施 @ABC Cooking Studio KOREA

クレアソウルでは、2016 年度の新規事業として、日本の地方へのインバウンド推進を目的として、日本最大の料理教室 ABC Cooking Studio 社の韓国法人とのタイアップにより、各地方の料理体験と観光 P R を同時に行う事業を実施しました。

実施地域は、都道府県・政令市を対象にした公募により決定し、9月から12月の毎月1回、鹿児島、静岡、茨城、長崎の順に実施。参加者が地方の料理体験を通じて、各地の魅力を直接感じていただいた後、観光情報の提供も行い、各地の魅力を強く配信しています。

第3回目は、11月26日(土)に我が茨城県の料理体験を実施しました!メニューは「納豆ポークジンジャー丼」、「納豆アボカド豆腐サラダ」、「そぼろ納豆」、「納豆みそ汁」と納豆尽くし。

韓国人 28 名の参加者のうち、なんと男性は 3 名。やはり納豆=健康食品のイメージ が強いようで、健康志向の女性の参加が目立ちました。

開催にあたっては、県庁国際観光課と連携をし、メニューの検討や講義内容、当日の講師派遣、参加者に配布するお土産の内容等について調整を行いました。またその中で、木内酒造様(レシピ開発、お土産用ビールのご提供)、金砂郷食品様(試食用及びお土産用納豆のご提供)、磯蔵酒造様(現地代理店を通じて試飲用日本酒のご提供)、月の井酒造様(試飲用日本酒のご提供)、明利酒類様(試飲用日本酒のご提供)、おかめ納豆様(お土産用ストラップのご提供)、笠間焼協同組合様(お土産用ぐい呑みのご提供)、水戸元祖天狗納豆様(チラシ用「そぼろ納豆」写真の使用許可)と、主旨にご賛同いただいた多くの県内企業様に多大なるご協力を賜りました。全4回の実施の中で、これほどまでに地元企業の協力を得られた回は他になく、県内企業様の茨城愛と「オール茨城」の団結力に深い感銘を受けました。この場をお借りして感謝申し上げたいと思います。



さて、ここからは当日の様子を詳しくお伝えしていきます!

# ●会場 ( ABC Cooking Studio Korea )





会場は、テーブルが9つ(うち1つは講師用)。大型複合モールの中にあり、 外の通路からスタジオ内部を、大きなガラス窓越しに見ることができます。

## ●茨城県&料理の概要説明(約20分)





料理体験の前に、国際観光課幡谷課長補佐より茨城県の概要を説明。 スライドを使った丁寧な説明により、興味深く聞いていただけました。 「東京から近くて良い」、「ひたち海浜公園に行ってみたい」との声も!!

# ●料理体験(約60分)





茨城について基本情報を知ったところで、料理体験開始! 前方のモニターに写る講師の手元と説明を真剣に見聞きしながら作っていきます。



参加者が一斉に納豆を刻む光景は圧巻!





皆さん和気あいあいと楽しそうに料理をされていました。



通りすがりの方にも興味津々にご覧いただけました!



限られた時間で力を合わせて料理した結果・・・





納豆を使った4品ものヘルシーメニューが完成!

# ●試食・試飲(約30分)













作ったものを食べていただきながら、茨城県産納豆と日本酒5種類の試飲も行いました。

## ●観光情報の提供(約15分)





試食の時間を活用し、料理体験の感想をインタビューすると共に、茨城県の PR 動画

#### ●最後に記念撮影



「いい経験が出来てとても楽しかった」、「これからも日本の色んな県の料理を学んでみたい」、「ぜひ茨城県へ行ってみたい」との感想をいただきました!

一方で、「とても良い体験だったが、4つのメニューとも納豆だったのは少し残念。納豆は嫌いではないが、もう少し多彩な料理を体験できれば良かった。」との意見も。応募人数も他の回に比べて少なく、やはり好みの分かれる納豆だけを押すのではなく、食の宝庫らしく多彩なメニューを紹介した方が、参加者にとっても、茨城県にとってもよりプラスになったのではないかと感じました。

とはいえ、全体を通しての満足度は「とても満足」が 86%、「少し満足」が 11%、合わせて 97%の人が概ね「満足」と回答。 茨城県&料理の概要説明についても、「よく理解できた」が 82%、「理解できた」が 18%で合計 100%を達成。また、茨城について知りたいと思ったかについては「とても興味が出た」が 71%、「少し興味が出た」が 25%。 茨城へ行きたいと思ったかについては「とても思った」が 57%、「少し思った」が 43%。 茨城へ行く計画を立てようと思うかについては、「すぐに計画したい」、「半年以内に計画したい」、「1 年以内に計画したい」が合わせて 64%、残る 36%も「いつかは計画したい」としており、「計画するつもりはない」との回答は 0 でした。 直行便がない中での誘客は不利と思われましたが、東京から近いことを PR した結果、身近に感じていた

だけたご様子。

この結果から、今回のイベント実施により、茨城への興味を喚起し、一定程度、旅行の動機付けをすることができたと言えるかと思います。今後またチャンスがあれば、「スタミナラーメン」や「つけけんちん」なども紹介し、更なる誘客促進に努めていきたいと思います。

## ▶参照:アンケート結果

http://www.clair.or.kr/down\_file/%E7%AC%AC3%E5%9B%9E%E3%82%A2%E3%83% B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E7%B5%90%E6%9E%9C.pdf

## ■ 「天皇誕生日祝賀レセプション」に茨城県ブース出展!

11月29日(火)に在済州日本国総領事館の主催で、12月8日(木)に在大韓民国日本国大使館の主催でそれぞれ「天皇誕生日祝賀レセプション」が開催され、韓国の政府や自治体、各国外交団の関係者等が来賓として多数参加される中、自治体ブースの一つとして茨城県ブースを出展しました。

茨城県ブースでは、東京からの近さや日本三名園のひとつである「偕楽園」、日本三名瀑のひとつである「袋田の滝」、死ぬまでに行きたい世界の絶景に選ばれた「国営ひたち海浜公園」を中心とした観光 PR に加え、韓国内で流通している地酒(磯蔵酒造、明利酒類)の試飲も行いました。

12月8日のレセプションには、韓国で磯蔵酒造のお酒を輸入販売している、株式会社 WinWin 営業所「酒蔵」の徐吉平(ソ・キルピョン)代表取締役にお越しいただき、ブース PR を一緒に盛り上げていただきました。大吟醸の人気が高く、味を気に入られておかわりする方や、何度もブースに足を運んでくださる方もあり、関東一の酒処・茨城の良い PR になったと思います!



